

2017年度事業報告

1 電話相談事業の継続実施

開局以来34年、休むことなく相談電話の受信を続け、開局以来の相談電話は607,770件（3月末）となった。2017年（平成29年）1月から12月までの相談件数は18,214件であり、昨年より1,224件減少した。男女別では、男性からが8,031件（44%）、女性からが10,183件（56%）となっている。2017年に自殺志向のある相談は1,489件で全相談受信件数の8.2%であった。

相談内容では生きづらさや孤独を訴える相談が最も多く、次いで精神的な病気の悩みや苦しみの相談となっている。女性では家族の問題を語る相談も多い。

2 いのちの電話インターネット相談の継続

2015年4月から実施したいのちの電話インターネット相談を2017年度も継続実施した。

2017年1月から12月末までの相談件数は203件であり、男性53件（26%）、女性150件（74%）となっている。20代女性からの相談が多く、このうち自殺志向のある相談は91件（45%）であった。相談内容では生きづらさ、孤独についてが最も多く、次に精神的な病気の苦しさを家族問題についてとなっている。

3 相談員の養成と研修

相談事業の充実を図るため次の通り養成と研修を実施した。

- (1) 第35期電話相談員養成講座を実施
養成期間 1年 受講者16名 認定者14名（男性3名 女性11名）
- (2) 電話相談員の継続研修を実施
第1期から第34期 電話相談員 155名（男性29名 女性126名）
毎月1回、今年度は1グループ増やし13グループに分かれて研修を実施した。
- (3) 電話相談員全員を対象に全体研修会を実施
6月16日（金） 講師 伊藤真理子先生 参加者45名
12月9日（土） 講師 日高正宏先生 参加者49名
ミニ体験交流会
5月27日（土）参加5名、7月22日（土）参加6名、9月16日（土）参加3名、
11月18日（土）参加8名、1月20日（土）参加7名、3月24日（土）参加5名
- (4) 相談員の3年目の研修（32期対象）を実施
7月8日（土） 講師 後藤公美子先生 参加者3名
- (5) 相談員の5年目の研修（30期対象）を実施
11月10日（金） 講師 中村協子先生 参加者4名
- (6) フレッシュマン研修（33期・34期対象）を実施
6月11日（日） フリートーク 参加者6名
11月19日（日） 講師 後藤実先生 参加者6名
- (7) 研修担当者（サブスタッフ）の研修を実施
7月25日（火） フリートーク 参加者6名
8月5日（土） フリートーク 参加者13名
9月9日（土） 全国大会打合せ 参加者15名
9月20日（水） 全国大会打合せ 参加者9名
3月22日（木） 新年度サブスタッフの役割 参加者20名
- (8) インターネット相談員の各種研修を実施
7月15日（土）、16日（日） 新システム研修会
講師 西川一臣先生、野口理英子先生他 参加者15名
8月19日（土） ネット相談実地研修
講師 野口理英子先生 参加者8名

- 8月21日（月）、22日（火） ネット相談実地研修
 講師 西川一臣先生 参加者8名
- 3月11日（日） ネット相談継続研修
 講師 石本勝見先生 参加者8名
- 毎月1回 新潟のスーパーバイザーによるネット相談実地指導を実施
- (9) 「自殺予防いのちの電話公開講座」を実施
 2月16日（金） 「新潟清心女子中学・高等学校ハンドベル部と
 合唱部の演奏と理事長のミニトーク」
 会場 新潟市音楽文化会館ホール 参加者109名
- (10) 第36期電話相談員の募集
 ・応募者18名 受講予定者14名（男性3名、女性11名）

4 広報活動の推進

- (1) 広報紙「聴く」を4回発行（No.133・134・135・136）、ホームページの充実を図った。
- (2) 7月末に新パンフレットを作成し、後援会役員と一緒に会員募集の働きかけを行った。
- (3) 9月県の自殺対策推進月間に合わせ、BSNラジオ（8月29日～9月10日）BSNテレビ（8月29日）でスポット広告を行った。
- (4) 相談員募集について2017年度も県や市町村の広報紙、新聞・ラジオ・テレビでの取材等による広報活動に加え、日報広告（1月25日）、BSNラジオ（1月22日～1月29日）、BSNテレビ（1月22日～1月31日）でのスポット広告を行った。

5 関係機関との協力

- (1) 厚生労働省補助事業フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」に参加した。
- (2) 9月4日 日本いのちの電話連盟、JR東日本と協力し、自殺予防キャンペーンとして新津駅構内でフリーダイヤル相談カード入りテッシュを配布した。
- (3) 新潟県ならびに新潟市の自殺予防対策会議のメンバーとして参加した。
- (4) 相談関係機関連絡会等に出席し、情報交換を図った。

6 後援会との連携

後援会と連携して、次の事業を実施した。

- (1) 自殺予防のための普及啓発事業
 新潟県の自殺予防キャンペーン事業として①「天上の音楽」ハートケアコンサート&及川理事長の講演②史佳さん母竹育さんの「うつからの回復の話と津軽三味線演奏」&及川理事長の講演を下記のとおり実施した。
- ①10月21日（土）「天上の音楽」ハートケアコンサート&及川理事長の講演
 新潟市だいしホール 参加者186名
- ②11月26日（日）
 史佳さん母竹育さんの「うつからの回復の話と津軽三味線演奏」&及川理事長の講演
 阿賀町公民館 参加者110名
- (2) 第31回チャリティーバザーの実施
 9月25日（日） 会場 新潟市総合福祉会館 来場者530名
- (3) 10月27日（金） 後援会長岡支部主催「チャリティー長岡寄席」
 長岡リリックホール 参加者431名
- (4) 後援会と協力して、会費・寄付金の納入について働きかけを行った。

7 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」への参加

毎月10日24時間、全国一斉にフリーダイヤルによる自殺予防の電話相談を受けた。
 2017年1月から12月までの受信件数 新潟の受信件数 606件
 うち、自殺志向のある相談件数 113件（18.6%）